

がんの早期発見のために

がんが早く見つければ、大きな手術をせずに内視鏡で取り除ける可能性が高くなります。しかし、初期のがんは自覚症状がほとんどありません。早期発見のためには、自覚症状がない段階でも定期的に検診を受けることが重要です。内視鏡検査は、負担の少ない種内視鏡や鮮明な高画質画像を得られるハイビジョン内視鏡が登場するなど、どんどん進化しています。特に近年は、NBIという技術を用いた内視鏡検査が注目を集めています。



大切なのは、定期的な検診!

内視鏡検査

↓
NBIの登場!

いま、NBIを用いた
内視鏡検査が注目されています!

? NBIって何?

NBIとはNarrow Band Imaging (狭帯域光観察)の略称をいい、特殊な光を使って粘膜表面を観察する、内視鏡の新しい技術です。がんの早期発見につながる技術として、世界中の医療現場での貢献が期待されています。



オリンパスは、がんの克服という
大きな課題に挑戦し続けます。



NBIや内視鏡検査についての詳しい情報は
こちらをチェック

[おなかの健康ドットコム](#)

検索

OLYMPUS

Your Vision. Our Future

ご存知ですか? NBI

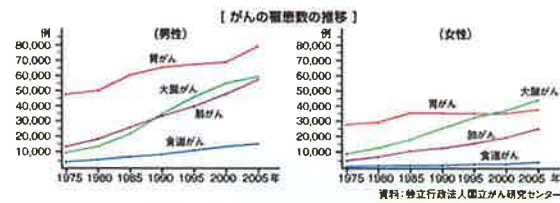
がん早期発見に貢献する新しい内視鏡技術



監修：東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科/内視鏡科
田尻 久雄

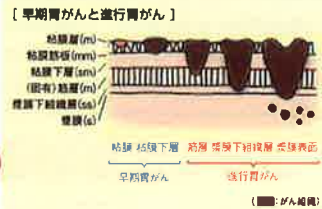
増え続けている、がん

近年、わが国において、がんにかかる患者さんの数がますます増えてきています。その一方で、内視鏡や外科治療、化学療法、放射線療法といった医療技術の進歩によって、がんは早期に処置すれば治る可能性のある病気になってきています。



① そもそも、がんってどんな病気？

がん細胞とは、細胞の中のDNAが傷つけられることで発生する、異常な細胞のことです。がん細胞は血管から栄養を奪って増殖を繰り返し、毒素を出しながら大きくなり、がん組織となって臓器の動きを妨げます。そして、進行すればするほど、生命がおびやかされることに…。しかし逆に言えば、がんを見つけるのが早ければ早いほど、治る可能性も高いということです。



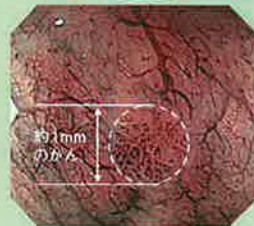
がんの早期発見につながる 新しい内視鏡技術 NBI

なぜNBIは早期発見につながりやすいの？

がん細胞は血管から栄養を補給して増殖するため、がんの始まりには近くに小さな血管が集まりやすくなります。NBIは、こうした特徴に強く反応する特殊な青い光を照らして観察を行う技術です。つまり、特殊な光の力で初期がんの特徴的な変化をわかりやすく照らし出すから、通常の光での観察より早期発見につながりやすいといわれているのです。



NBIは、初期のがんの特徴的な変化を見つけやすくする技術なんです！



▲ NBIで見た画像



▲ 通常の光で見た画像

*2つの内視鏡画像は、大きき約1mmの食道がんを撮影した画像です。拡大内視鏡で同じ部位を観察したものです。

NBIって大変な検査なの？

NBIを用いる検査は、内視鏡の画像をボタン一つでNBIに切り替えるだけなので、受け方は通常の内視鏡検査とまったく同じです。また、対象の部位も「食道」「胃」「十二指腸」「大腸」「気管支」など、幅広い領域でNBIを使うことができます。皆さんの健康や安心のために、NBIを導入しているお近くの施設で、早期発見につながる検査を受けられることをお薦めいたします。

早期発見につながりやすいNBIで、ぜひ検査を受けましょう！

